

知床ヒグマ対策連絡会議の対応状況

1 令和 7 年度第 1 回知床ヒグマ対策連絡会議の開催

- (1) 日時：令和 7 年 6 月 10 日（火）13:00～15:00
- (2) 場所：斜里町公民館 ゆめホール知床
- (3) 関係機関：環境省、林野庁、北海道、斜里町、羅臼町、標津町、知床財団

2 概要

(1) 令和 6 年度ヒグマ管理計画の実施状況及び今年度のヒグマ出没状況について

(令和 6 年度ヒグマ管理計画の実施状況)

- ・ヒグマ管理計画目標に関する状況については、昨年度 10 月末時点のデータに 11 月から 3 月までの数字を追加して作成。今年度のヒグマ出没状況については、4 月～5 月の目撃件数、対応件数及び捕獲頭数の速報版を集計。

(今年度のヒグマ出没状況)

- ・斜里町は、目撃、対応件数いずれも昨年度より少ない状況。市街地（ゾーン 4）で 2 件発生。6 月に入って公園内ではあるが親子連れの複数頭のヒグマの目撃有り。公園外では斜里ウトロ間の国道沿いで目撃有り。総じて、公園内基部も含めて今のところ比較的落ち着いた状況。
- ・羅臼町は、春は比較的少なく、トピックとして、羅臼岳でスキーをしていた利用者がヒグマに追いかけられる事例が発生。5 月後半からは市街地やゾーン 4 付近での目撃が増加傾向にある。ビジターセンターのすぐ裏の木に登っていた事例があり、ドローンと花火弾による追い払いを実施。
- ・標津町は、昨年度と大きな開きはない。有害捕獲 2 件実施。親離れした若い個体が出没。市街地への侵入なし。その他、小学校、中学校でヒグマ学習を実施。

(2) 今後のヒグマ管理の方向性について

第 3 期知床半島ヒグマ管理計画改定に向けた方針

- ・個体数調整の考え方を導入したことによるフレームワークの精査
（フレームワークは、意識調査等を行う際に分かり易いものにする必要がある）
- ・計画の目標の項目の見直し（実現可能な目標とする）
- ・管理の方策、アクションプランの見直し
（実態の対策に合わせて簡易的なものにするほうが良い）
- ・モニタリングに関する必要な項目、手法の検討

(主な意見)

- ・実際に個体数調整を実施するにあたっては、個体数の推定が重要
- ・個体数調整をどのような方法で、どの場所で行うのか想定しておく必要がある
- ・ゾーニングについては、現状のままで機能しているので見直しは不要
- ・春期管理捕獲は、人材育成の名目ではあるが 3 町で実施している

(3) 令和 7 年度アクションプランの実施状況について

- ・昨年度の第 2 回 WG 時点の資料を基に関係機関で確認した。

(4) その他（各機関からの情報提供等）

- ・ 岩尾別温泉道路（町道）におけるヒグマに接近する者への対策について議論
- ・ 道路を駐停車禁止にすることは困難であるが、具体的にアクションが必要
- ・ 個体数調整を考えると同時に、国立公園内（岩尾別）の施策を考えていく必要有